



輝け！北っ子！

鼓笛練習 本格化！！ ～コロナ禍でも 伝統は引き継ぐ～

6年生の鼓笛練習が本格化してきています。コロナ禍のなか、今年度は例年のような運動会での発表ができませんでした。しかし、なんとか伝統を引き継ごうと、11月6日のふくしま教育週間での鼓笛披露を計画しています。（大変申し訳ありませんが、感染拡大防止の観点から、6年生保護者のみへの公開とさせていただきます。）そこで、6年生は昼休み時間を使って練習をしています。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、練習での制約も多い中、子ども達は本当に熱心に取り組んでいます。保護者の皆さん全員に「是非 見てください」と言えないところが心苦しいのですが、子ども達の頑張りはなんとか知ってほしいと思っています。

また、鼓笛披露のにあわせて「剣舞」の披露も計画しています。



ちょっといい話

～4年生の「+α」1年生の「気づき」～

生活委員会では、朝のあいさつ運動を行っています。玄関、東・西昇降口の3ヶ所に分かれて、登校してくる子に大きな声であいさつをしてくれています。今年から委員会活動が始まった4年生も5・6年生の姿を見ながら熱心に活動しています。

そんな4年生の中に、あいさつ運動の他に「+α」の活動を

してくれていた人がいたのです。それは、あいさつ運動の合間をぬっての「くつそろえ」でした。伝統的に靴をきちんと入れている北小の子ども達ですが、時々、ちょっと気が抜けてしまうこともあります。4年生の生活委員会の人、他の学年の下足入れの状況を見て、きちんと入れ直してくれていたのです。まさに「+α」の活動です。委員会で決められた活動だからではなく、そこに、自分なりの活動を加えていたのです。活動の時間は20分程度かも知れませんが、その20分をより意味のあるものに変えていくのは、一人一人の意識なのではないでしょうか。

また、この4年生の活動に気づいたのが、1年生であったというのも素晴らしかったです。感謝の気持ちをもってその姿を見つめていた1年生の素直な心にも感動しました。



保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～

..... 切 り 取 り 線